

光で世界は進化する。



令和2年1月14日

株式会社 QD レーザ

網膜走査型レーザーアイウェア「RETISSA® メディカル」発売

株式会社 QD レーザ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：菅原充、以下、QD レーザ）は、「RETISSA® メディカル」を本日発売いたします。

同製品はレーザー網膜走査技術「VISIRIUM®テクノロジー」を用いた視覚障害者向け医療用ヘッドマウントディスプレイです。2020年1月に新医療機器として承認を取得しています。



図. 「RETISSA® メディカル」

【製品概要】

RETISSA® メディカルは、三原色レーザー光源からの微弱な光と高速振動する微小な鏡（MEMS ミラー）を組み合わせ、網膜上に映像を描き出すレーザー網膜走査技術「VISIRIUM®テクノロジー」を採用したヘッドマウントディスプレイです。超小型プロジェクタユニットから、片眼の視野中心部（水平視野角約 26 度、アスペクト比 16:9）に、デジタル映像を直接投影することができます。当製品は、眼鏡やコンタクトレンズでは十分な視力が得られない不正乱視の方を対象とし、眉間の部分に搭載されたカメラからの映像を投影することで視力を補正します。

【製品の特性】

① 視力の補正

網膜投影による視力補正が期待できるほか、デジタルズーム（2 倍）の併用により、さらなる見え方の改善が期待できます。

② 読書速度の向上

1 分間に読める文字数が増加することで、よりスムーズな読書が可能になると考えられます。

③ 読書視力の向上

より小さな文字が読めるようになり、読書視力の向上が期待できます。

【主な機器仕様】

販売名	RETISSA [®] メディカル
一般的名称	レーザー網膜走査型眼鏡
種別	管理医療機器（特定保守管理医療機器）
医療機器承認番号	30200BZX00025000
使用目的	本品は、不正乱視によって視力が障害された患者（既存の眼鏡又はコンタクトレンズを用いても十分な視力が得られない患者）に対し、視力補正をする目的で使用される。
動作原理	アイウェア投影部に内蔵されたビデオカメラにより撮影した画像をプロジェクタから照射されるレーザー光として瞳孔の中心部を通し、直接網膜に点描する。
大きさ	アイウェア投影部（Mサイズ）：163 x 48 x 196 mm 制御ボックス：80 x 31 x 160 mm
重量	アイウェア投影部（Mサイズ）：約 78g 制御ボックス：約 460g

※本品はレーザー安全性に関する国際規格 IEC60825-1 に適合するクラス 1 のレーザーを利用しています。

【販売方法】

当製品の体験、購入には眼科医の診察を受ける必要があります。

詳細は取扱い眼科(リストは後日サイトにて掲載の予定です)、または QD レーザ(retissa@qdlaser.com)までメールにてお問合せ下さい。

【株式会社 QD レーザ】

富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中 達也、以下、富士通）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：安永竜夫）傘下の Mitsui & Co. Global Investment, Inc.（設立当時：株式会社エム・ヴィー・シー）の出資で、2006 年 4 月に富士通からのスピンオフベンチャーとして設立されました。株式会社富士通研究所（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：佐々木繁）と東京大学との 10 年以上にわたる産学連携による共同開発を基に、可視光領域から波長 1300nm 帯までの量子ドットレーザーをはじめとする高性能の半導体レーザーの開発・製造・販売を行っています。「光で世界は進化する。」というコーポレートキャッチフレーズは、レーザー及び光学技術で社会に貢献していく当社の意志を象徴するものです。

網膜走査型レーザーアイウェアの技術は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）によるクリーンデバイス社会実装推進事業、平成 27 年度課題解決型福祉用具実用化開発支援事業等の支援を受けながら開発を続けてきております。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール retissa@qdlaser.com

<http://www.qdlaser.com/>

<http://www.qdlaser.com/applications/eyewear.html>

・ RETISSA、VISIRIUM は株式会社 QD レーザの登録商標です。その他の記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

・ 見え方には個人差があります。

・ 予告なく仕様等の変更が行われる場合があります。